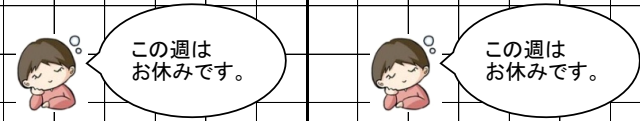


CMF(シクロホスファミド+メトトレキサート+フルオロウラシル)療法 (エンドキサン+メトトレキサート+5-FU)

様 コース目

☺ **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやす の時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21	1日目	
			1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	1/10	1/11	1/12	1/13	1/14	1/15	1/16	1/17	1/18	1/19	1/20	1/21	1/22	1/23	1/24	1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	
デキサメタゾン(デキサート)	吐き気止めです	15分	☒							☒																						☒
メトトレキサート(メトトレキサート)	抗がん剤です	20分	☒							☒																						☒
フルオロウラシル(5-FU)	抗がん剤です	20分	☒							☒																						☒
生理食塩液		5分	☒							☒																						☒
シクロホスファミド(エンドキサン)錠	抗がん剤です	朝・夕		☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒																



☺ 治療による副作用

注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21	1日目		
		1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	1/10	1/11	1/12	1/13	1/14	1/15	1/16	1/17	1/18	1/19	1/20	1/21	1/22	1/23	1/24	1/25	1/26	1/27	1/28	1/29		
自覚症状	アレルギー様症状																															
	発熱や寒気、吐き気、頭痛、めまい、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																															
	食欲不振・吐き気																															
	食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																															
	口内炎																															
口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかりと行いましょう。																																
色素沈着																																
肌が黒ずむことがあります。長袖や帽子などを用いて、日光など紫外線には注意してください。																																
脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																																
髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																																
検査値	白血球減少																															
	感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																															
	赤血球減少(貧血)																															
貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																																
血小板減少																																
出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																																

☺ * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
 * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
 * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
 * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。